

市長と語る地域懇談会 記録

【日時】平成26年11月26日(水)午後6時30分～8時30分

【会場】山部福祉センター

【対象地域】山部

【出席者】38人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
経済部	山部に生まれ、山部で育ち、住みやすいまちだと思っているが、今、若者の働く場所がない。働く場所を整備していくのが一番の課題ではないか。	【市長】富良野の人口減少問題は、三公社五現業がなくなったことが大きな要因の一つである。それから農家人口の減少。機械化の進展によるものである。それともう一つは、若者が結婚しないという現状がある。富良野のこれからの進むべき道を模索する中で、企業誘致も一つの方策だが、内陸では、輸送コストの面で難しい面がある。しかし、富良野の強みを活かし、観光や農業の6次産業化の関連の施設で考えていければ良いと考えている。
経済部	企業誘致について、富良野でなかなか難しいと考えている。6次産業化に力を入れて、発展させていくのが近道ではないか。数名の働く場でも良いのではないか。先日、ことぶき大学で昔の山部のでんぷん工場の話聞いた。小さな工場でもたくさんあれば活性化するのはないか。	【市長】山部に山梨のワイナリーが、土地を購入した。山梨が温暖化のため、ぶどう作りに適した土地を北海道に求めたためである。綿羊を飼いたいとも言っている。地元の雇用も考えているそう。この件から、6次産業化を行う企業の誘致が可能だということが実証できた。それから、農業は今、農業生産法人や企業との連携などいろいろな形があるので、一つの形にこだわらずバックアップしていきたい。
商工観光室	富良野の観光はラベンダー。秋の紅葉が富良野はあまりよくない。紅葉するものを意図的に植樹していったらどうか。	【商工観光室長】今、富良野の観光で弱いのが、春と秋。その魅力をどう掘り起こし、発信していけるか。季節偏差を解消し通年雇用に結び付けていきたい。また、修学旅行生の農業体験を進めて、未来の顧客にしていきたい。 【市長】富良野観光に目玉がない。目玉を作る状況を作っていく必要がある。健康と観光を結びつけていく。自転車なども一つの

<p>商工観光室</p>	<p>冬の観光に目玉がないと思う。ラベンダーゴルフコースのところに人面岩がある。それを観光資源として情報発信していけば良いのではないか。</p>	<p>要素だし、原始ヶ原も魅力的である。そういった富良野の資源を発掘して磨き上げていく必要がある。富良野美瑛圏域で協力しながら進めていきたい。</p> <p>【商工観光室】富良野の一番の売りは自然。作り物は飽きる。昨年、東南アジアの子どもたちを雪で遊ばせたときに大喜びしていた。自然の魅力を継続して発信していきたいと考えている。</p>
<p>経済部</p>	<p>農業の仕方を変えなければいけないと思う。高齢者が従事できる状況にしていく。2人でも20丁つくることだってできる。農業を単純化していかなければならない。秋に畑をおこすのが昔の常識だったが、それはあまり良くない。だんだんと富良野も変わってきているが、まだまだ気づいていない人が多い。考え方を変える必要がある。</p>	<p>【経済部長】おこさない人もいれば、おこす人もいる。良い面・悪い面があるので、それぞれの農家が経営の中で判断をしていくものと思っている。</p> <p>【市長】なかなか考え方を变えるのは難しいので、担い手育成センターで指導していく必要があるのではないか。そのときは協力をお願いしたい。</p>
<p>商工観光室</p>	<p>ノザワでマグネシウム肥料を作っているが、マグネシウムから発電ができるという話を聞いた。それを活かしていけないか。</p>	<p>【市長】ノザワの社長に会う機会があるので伺ってみる。</p>
<p>経済部</p>	<p>太陽の里の下の温水溜池は、無用の長物に見える。誰のものなのか。何かに活かさないのか。ビオトープなど人工的な自然環境をつくって、昆虫・小動物の憩いの場をつくれば、観光客も来るのではないか。</p>	<p>【経済部長】あの溜池は、空知川上流土地改良区の管轄である。農業用の施設であり、現在も活用している。水温を上げるため階段状に水が流れ落ちる姿は美しい農村景観となっている。</p> <p>【市長】外国人を山部にも誘客できるような状況を作っていかなければいけないと思っている。それから、ノザワの空き地にヒマワリが植えてあるが、それを観光資源にして、体験村とあわせて観光客を周遊させるような状況をつくっていったらどうか。</p>
<p>保健福祉部</p>	<p>住民にとって、地域のインフラがどの程度整備されているかが重</p>	<p>【保健福祉部長】この間の経過と対応だが、10月に閉院の情報</p>

	<p>要。診療所の問題は切実。どうにかしてほしい。</p> <p>今、病院の関係が出たので、それにあわせて、意見を出させてい ただく。山部総合振興協議会の幹事会の中で地域の要望としてま とめた2点について話をさせていただく。まず一つ目は、山部の 診療所がなくなり、不安で本当に困っている。対応の方向として は、通院手段の確保、診療所の設置、そしてベストは開業である。 先日、町内会長に集まっていた中で、「医者がいなくなって困った」 、「我々に今できることは何か」の2点で気持ちをまず 一つにすることに同意していただき、この問題の対応の窓口を振 興協議会の三役、市の保健医療推進協議会の委員と、2人の監事 さん、コミュニティ活動推進員として山部支所長と次長とするこ とも、賛同していただいた。よろしくお願ひしたい。</p> <p>それから二つ目は、自主防災についてである。第一段階の「自主 防災会の設立」は、町内会長、区長の尽力により、この3月に全 地域に設立された。今、第二段階の「避難所の確定と周知徹底」 を進めている。先般配布された防災マップで、北星コミセン、南 陽コミセン、小学校、中学校、生涯学習センターはすでに指定避 難所となっている。ついでには、南コミセンと西コミセンを追加指 定していただき、各避難所に発電機の準備をお願いしたい。さら に第3段階の「訓練」が出来るよう指導のほどよろしくお願ひし たい。</p>	<p>をいただいた。しかし、地域には知らされていなかった。そこで 町内会長さんを通じてチラシをまかせていただいた。今後の方向 性だが、ベストは診療所の開設。その点について、医師会にお願 いをして検討をしていただいている。ただ、現状として医師会から の医師の派遣は難しい状況である。</p> <p>【市長】協会病院でも今、医師が不足している。なかなか医師の 確保は難しい状況。今後、医師会がどう判断するかまだ分から ない。市としては、今、交通費の助成を考えている。また、医学生 への修学資金制度もスタートした。将来、地域医療の担い手確保 になると考えている。</p> <p>【総務部長】市としては、「自助・共助・公助」を基本に、防災 意識高揚に努めてきた。防災は「地域力」であり、山部全域で組 織化されたことに感謝する。組織は立ち上げて終わりということ でなく、まさに今後の活動が大切。市としても支援をおしまない。 避難所指定については、今後の検討課題とさせていただきたい。 また、発電機などについては、昨年、雪山、それによる地域の孤 立化の教訓から、本年、東山・山部・麓郷・布礼別地域に配置し た。今度も地域性を考慮し、計画的な配置に努めていきたい。訓 練については、市としても積極的に支援していきたい。今後、地 域と話を進めさせていただきたい。</p> <p>【市長】地域で運営を行っていけるよう対応していきたい。</p>
<p>総務部</p>		
<p>建設水道部</p>	<p>電気料金や燃料が上がり、コミセンの運営がかなり苦しくなっ ている。これから除雪もあって経費がかかる。何らかの対策をうっ</p>	

	<p>てほしい。 基線の13線で、交通事故が相次いだ。死亡事故が起きたら遅いので、何か対応をしてほしい。山側からくると、冬は止まらない。</p>	<p>【市長】交通安全の関係は、公安と協議し対応していきたい。看板の設置や砂まきを行うようにする。</p>
--	--	---